

## 異文化研修Ⅱ（米国）9日目

### 【看護学科】

看護学科は、シアトルでフリータイムでした。

各々が徒歩やバスで目的地へ向かい、買い物や市内観光をして楽しみました。

### 【健康栄養学科】

本日は、3ヶ所の施設で見学・ディスカッションを行いました。

#### ■Yakima Farmworkers Clinic

primary care 現場で活躍する管理栄養士が働いている施設です。

primary care はアメリカが先進国ですが、日本はこの分野ではかなり遅れをとっています。日本では、primary care の現場で活躍する管理栄養士は少なく、貴重なディスカッションを行うことができました。ただ医師の指示を待つのではなく、管理栄養士自らが患者の問題を発見し医師に伝えるという積極的な姿勢は、これからの日本の管理栄養士にとってとても重要な姿勢です。また、根拠に基づいた栄養アプローチの重要性など、両国間の違いのみならず、管理栄養士として目指す共通の目標も感じることできたように思います。



#### ■West Valley School District

学校給食の現場で活躍する管理栄養士が働いている施設です。日本の給食センターのような場所で、厨房の様子も見せていただくことができました。給食制度の違いをディスカッションする中で、あたりまえのように感じていた日本の学校給食制度があたりまえではないことを改めて感じた様子でした。また、学生からは多くの質問があり、特に衛生管理に関する意見交換では、現地のスタッフの方に日本の衛生管理を伝えると驚かれた様子でした。両者にとって、充実した時間を過ごすことができたと思います。



#### ■Roy orchard, Moxee

アメリカのポップの75%の生産を行う、110年の歴史のある施設です。日本にも多く輸出されており、食べ物と隣り合わせの管理栄養士にとって、食物がどのような生産管理を経て市場に出回るのかを学ぶ貴重な機会となりました。ポップだけではなく、ブルーベリーやチェリーなども栽培されています。なかでも、生産物や環境、

雇用者に対する「サステナビリティ」に熱心に取り組んでおられ、様々な分野で重要視されている考え方も学ぶことができました。



#### ■CWU 学生、教職員とのコミュニケーション

本研修では、全ての行程をCWU 栄養学部の教員が引率して下さり、CWU 卒業生の活躍する医療教育施設を訪問させていただきました。

本日は、夕食をともした後、研修の修了証書をいただきました。短い時間でしたが、学生は充実した表情をしていました。ロデオのフリーイベントにも連れて行っていただき、アメリカの文化を肌で感じることができました。来年度以降の研修プログラムについてもディスカッションすることができ、大変充実した時間を過ごすことができました。

